

# くらしの相談センター だより

所長 宮原春夫 2022年11月 第230号

発行：くらしの相談センター  
〒210-0005 川崎市川崎区東田町10-36 電話&FAX 044-246-6823  
E-Mail h-miyahara@siren.ocn.ne.jp (HP) http://kurasino-soudan.jimdo.com/

シリーズ  
ご存知ですか

## 10月から変わった制度

●75歳以上の医療費窓口負担

該当する被保険者は全体の2割、約370万人とされる。

10月28日に、さらに75歳以上の保険料引き上げ(案)を厚労省が提示年内決着めざす(東京新聞)

## ●最低賃金の引上げ

物価高騰を考慮し、過去最大の引上げ幅になったが、地域格

差があり、物価高騰による支出増を下回った。給料から引かれる雇用保険料の料率も0.2%上がる。

## ●パート社会保険加入

勤務先の従業員数が「101人以上」に拡大された。要件に該当すると社会保険に加入できることに。しかし年金と健康保険料がパート代から天引きされ手取りが大きく減る可能性がある。

大幅引上げとセツトでなければ、手取り額を配偶者の扶養内に抑える「パート収入の壁」問題は未解決。  
●男性の育児休暇  
休みを2回に分けて取得、一旦仕事に復帰することも可能。(新婦人新聞より)

10月1日から変わる制度		
医療	75歳以上の医療費窓口負担	一定以上の所得がある人は1割から2割に引き上げ
	大病院初診料の特別料金	紹介状がない場合は「5000円以上」を「7000円以上」に引き上げ
労働	最低賃金	都道府県ごとに順次引き上げ、全国平均は前年度比31円増の961円に
	雇用保険料	負担率が労使とも0.2ポイントずつ上がる
	厚生年金加入	パートなど短時間労働者の加入で、企業規模の要件が従業員数「501人以上」から「101人以上」に拡大
子育て	児童手当の給付	高所得者向けの月額5000円の特別給付が一定以上の収入のある世帯で廃止
	男性の育児	子どもの出生後8週間以内に最長4週間の休業を取得できる「産後パパ育休」がスタート
		未解決

## 相談事例 (その206)

### 事前の契約が、家族からの お礼の言葉になりました

①、9月下旬医療生協のフードバンクのピラを見たと言って池上新町に住むOさん(78歳女性)が相談センターに見えました。  
3人家族で、長女(50歳)長男(49歳)2人とも病気で働けなく貯金も底をつき生活保護の申請に行きました。申請後、長い間連絡が取れなかった次男とようやく連絡が取れ、孫が生ま

れたとのことで嬉しくなりお祝いに100万円あげました。福祉課のケースワーカーは通帳の振り込みの印字を見てこの100万円を返してもらって生活保護基準の6万9千円以下の住居に引っ越し、所持金5万円以下になったら申請に来てくださいと言われた。どうしたらという相談でした。

判断力があるうちに早めの契約をお勧めします。

## 教師として歩んだ35年の道

### 「佐々木勝男著」を読んで

「子どもは知的好奇心のかたまり」「面白くなくては授業じゃない」「楽しくなくては学校じゃない」佐々木勝男さんの子どもと教育への思いがあふれている言葉です。川崎区の3つの小学校(田島、川中島、浅田)で35年。あふれんばかりの豊富な教育実践は、私たちにいろいろなことを投げかけてきています。楽しく読ませていただきました。岩手から、はじめて川崎の田島小学校に赴任したとき、子どもたちから「いなかっぺ先生」と声をかけられたほほえましいエピソードは、岩手の自然の中ではぐくまれながら、大好きな教師の道をスタートした「青年教師・佐々木勝男」が目に見えます。「子どもの意欲を励ますのが教育評価でなくてはならない」と熱い思いをこめて、青年教師たちが論議を重ねて、5年がかりで、5段階相対評価から到達度評価に到達した話は、「教育の原点」を見る思いでした。

川中島小学校では、奈良の大仏の実物大(16m)を子どもたちと一緒につくり、親の協力も得て学校の屋上から降ろして「よくやった」とみんなが喜んで。実に「壮観」。「やればできる」と、子どもたちをどんなにか励ましたらうと、この大胆な発想に感服です。

浅田小学校時代、地元商店街の調査や在日コリアンの多文化共生の努力など、地域に根づいた学校教育を目指して、子どもたちとともに考え、調べて研究し、目を広く社会に向けていく地道な実践に共感しました。

第6章、7章で、地域に根ざした教育運動、その努力を通じて教師自身が成長して行く姿が、歴教協サークルづくり、川崎南部民協などのさまざまな実践を通じて語られています。

教育を狭く学校の中だけでとらえるのではなく、世界と日本、歴史の大きな流れの中でとらえていく、佐々木勝男さんの広い視野に立った、真骨頂が現れています。

本庄洋彦(宮前町在住)



新婦人・川崎南支部さくら班  
甲斐るり子さん(鋼管通在住)

②、10月中旬所長が死後事務委任契約しているWさんがアパートで孤独死しました。何回も施設に入るように

先号の相談事例で「マイナンバーカードの取得を」と書きまして。政府は健康保険証を廃止して強制的にマイナンバーに移行させようとするには断固反対です。75歳過ぎた一人暮らしで任意後見契約をする人は受任者に負担をかけないためにという「ごく限った範囲の人は」と言うところを誤解を生むような表現で多くの読者の方から指摘を受けました。訂正してお詫びを致します。

くらしの相談センター 宮原春夫



10月の相談内容と件数  
(9月21日～10月20日に受けたもの)

相談内容	件数	
	当月	1-10月合計
住宅問題	2	12
生活保護	3	11
身障者問題	0	5
就職・仕事	2	6
医療・病院	0	8
市への要求	1	3
多重債務	0	1
架空請求	0	1
税金・年金	0	1
交通事故	0	1
子供問題	0	0
離婚問題	0	1
弁護士等の相談	1	13
不動産問題	0	8
後見・相続	1	20
その他	8	55
合計	18	146
開設からの総合計 (2003年9月)	7870	

「冬期物品販売」のお知らせ



いつもご協力  
ありがとうございます。  
40品目取り揃え  
ています。

「こどもの無限の可能性を引き出す」  
小・中・進学補習

生きるちから **学習教室・エチュード**

〒210-0834 川崎市川崎区大島3丁目32-10  
マック大島コート1階/Tel & Fax 044-245-5847  
https://echud.com

11月の予定  
★**無料法律相談日**  
☆**11月15日(火)**  
予約が必要です。  
要件をまとめて

★**土日祭日は休み**

● **相談時間**  
午前10時～17時です

**中央地域  
境町相談所**

日本共産党中央地域  
後援会事務所  
「困ったとき・  
迷ったとき」  
ご相談ください。  
午後 13時～16時  
(土・日・祭日除く)  
電話 044-233-5812  
所長 片柳すすむ



竹内さんからは、11年前の大震災の時、千葉市川の石油タンクが爆発して燃え尽きるまで燃えたこと。山田さんからは、視覚障害者の方で騒音被害を受けている方の話を、音が頼りの方の音を騒音が奪い生活を壊される話を。片柳・後藤両市議からは、災害が起きた時、市の対応の説明がありました。燃えてはいけない話を、心が燃えるように話をしてもらいました。

田辺一雄  
(渡田在住)

オンデマンドプリント・ウェブシステム  
マグネットシート・ネームサービス・DTP

印刷のご用命は  
有限会社 **協立印刷社** へ

ホームページ <http://www.kawa-kyo.co.jp/>

川崎区貝塚 2-14-11  
tel 044-222-4205

今年も、おせわに参りました。  
感謝の気持ちを込めて……

2022年くらしの相談センター  
**年末パーティー**

日時 2022年 12月 18日(日)  
開場 14:15  
開演 14:30

会場 東海道かわさき宿  
交流館4階

会費 1,000円  
(カクテル付、700円はあります)  
(持ち込みもOKです)

企画内容  
・ごあいさつ

あなたの故郷の民謡も!  
歌手・原田 直真紗さん  
三味線・高橋 幸二郎さん

わが街の音楽集団  
ザ・のんべーず  
のみなさん

新型コロナウイルス対策としてご協力をお願いします。  
①当日は手拭消毒、マスク着用、検温、署名での入場となります。  
②その他、3密を避け、スタッフの依頼にご協力をお願いします。  
③感染拡大状況によっては中止もあることを、ご了承下さい。

くらしの相談センター TEL/Fax 044-246-6823  
〒210-0005 川崎市川崎区東田町10-36

「誰も幸せな世界」を拒む専制政治は、徹底して千代子たちを心身ともに痛めつけました。特高の容赦ない拷問、検事の懐柔的な手口で変節を迫るやり方を見ていて、その中でも最もつらかったのは千代子の愛する夫が変節したことを知らされたことです。夫が変節したことを執拗に伝え、千代子に節を迫り精神的に追い詰めていくところは、見ていて千代子の気持ちに思うといたたまれませんでした。千代子たちが倉庫で励まし合っただけで、改めて知りました。今もまだ「誰も幸せな社会」が実現していない中、自分たちのめざした社会に近づいたための、千代子たちのゆるぎない勇気と不屈性に応えて、次の世代にバトンを渡したいと思います。

田母神良子(中瀬在住)

10月14日(金)、『羽田新ルートシンポジウム』が教文6階大会議室で開催されました。参加者は50数名、発言者は須永知男さん(渋谷の空を守る会)、大村究さん(羽田問題プロジェクト)、増間碌郎さん(港の空を守る会)、山口宏弥さん(元日本航空機長)、川崎からは竹内康夫さん(元日本石油労働者)。山田美枝子さん(田町の騒音被害市民)。「羽田問題」の市政報告を片柳すすむ、後藤まさみ両市議が。そしてはたの君枝前衆議員も参加されました。

須永さん・増間さんからは東京の状況を、町会では「政治と宗教の話」はダメ。しかし「『羽田』の話は生命(いのち)に関わること」と言ってくれた町会長の話。大村さんからは、国交省が着陸時アメリカの空港のようにできるとうそぶく話。山口さんからは、機内の機長と副操縦士の上下関係。離陸3分着陸8分の危険性の話その真下に危険な工場地帯、特に石油化学工場があるなど考えられないと。以前の飛行機事故から50年飛んでいなかったのが当たり前、これからも飛ばしては行けないと。

危ない、つるやい!  
羽田新飛行ルートストップ



映画「伊藤千代子の生涯」を見て

「誰も幸せな社会をめざして、伊藤千代子をはじめ純粋な乙女たちは、天皇絶対の専制政治に抗して立ち上がりました」。国民が無権利状態におかれている中、天皇制に反対すれば治安維持法の下、検挙、拷問で命まで奪われます、にもかかわらず節を曲げなかったのは、純粹さだけではなく科学的社会主義をよく学んでいたからです。読書量のすごかったことを知りました。

「誰も幸せな世界」を拒む専制政治は、徹底して千代子たちを心身ともに痛めつけました。特高の容赦ない拷問、検事の懐柔的な手口で変節を迫るやり方を見ていて、その中でも最もつらかったのは千代子の愛する夫が変節したことを知らされたことです。夫が変節したことを執拗に伝え、千代子に節を迫り精神的に追い詰めていくところは、見ていて千代子の気持ちに思うといたたまれませんでした。千代子たちが倉庫で励まし合っただけで、改めて知りました。今もまだ「誰も幸せな社会」が実現していない中、自分たちのめざした社会に近づいたための、千代子たちのゆるぎない勇気と不屈性に応えて、次の世代にバトンを渡したいと思います。

田母神良子(中瀬在住)

昭和21年創業 **近代書房**  
古書売買

日本の古本屋 検索

☆インターネット販売を始めた ……………  
…………… 当店の最新情報をごらんください

☆営業時間 10時～18時 定休日 月曜日  
川崎市川崎区砂子 2-8-17  
tel 044-222-3482 fax 044-222-8484

《訪問リハビリ・マッサージ》  
(株)川崎幸はりきゅう院  
さいわい訪問  
マッサージセンター  
【各種保険取扱い】  
tel 044-555-6629  
fax 044-555-3241

キムチをつくり続けて30年  
新鮮野菜・キムチの  
(有) **グリーンフーズあつみ**

ホームページ検索  
グリーンフーズあつみ 検索

川崎区大島 3-35-7  
tel 044-288-7616